



9月 すまいるケアだより



令和8年9月30日発行

今年は、例年よりも早くインフルエンザの流行期に入りました。これからの季節、子どもたちの間でも感染が広がることが予想されます。ご家庭でもお子様の体調の変化に注意し、感染予防を心がけましょう。



インフルエンザにご注意ください



インフルエンザの主な症状



インフルエンザは、発熱・咳・鼻水・咽頭痛のほか、嘔吐や下痢などの症状がみられることもあります。

水分補給と全身状態の確認

嘔吐や下痢があるときは、脱水に注意が必要です。水分がとれない、ぐったりしているなどの場合は、早めに医療機関へ相談しましょう。

検査のタイミングに注意

発症初期では、検査が陰性となる場合があります。症状が続く場合や、周囲で流行している場合は再受診し、医師に相談しましょう。

抗インフルエンザ薬は、一般に発症から48時間以内の開始で効果が期待できます。症状が続く場合は早めの再検査をおすすめします。

異常行動に注意しましょう

インフルエンザにかかったお子さまは、薬の服用の有無にかかわらず、急に走り出す、外へ飛び出そうとするなどの異常行動がみられることがあります。発熱から少なくとも2日間は、そばで見守り、窓や玄関の施錠など、事故防止に努めましょう。



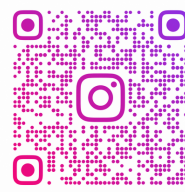
9月の利用状況

感冒（風邪）	9件
手足口病	4件
ヘルパンギーナ	2件
インフルエンザA	1件

病児保育室すまいるケア

☎0254-28-7606

お問い合わせ・詳細・申し込みはこちら⇒



HOTSHIBATA_SMILECARE

